

町制施行60周年記念

はたちを祝う会

1月8日(日)、野木エニスホールにおいてはたちを祝う会が開催されました。
当日は145名が出席し、夢や希望を胸に新たな門出を迎え、大きな一歩を踏み出しました。
会場のあちこちで、旧友や恩師の方との再会を喜び、思い出話に花が咲く姿や、笑顔で記念撮影する姿が見られました。





「二十歳の誓い」



はたちを祝う会代表
富川 剛

私たちは今年度中に20歳を迎えるわけですが、そのことに一体どのような意味があるのでしょうか。過去を遡ってみても、20歳が特別な歳であると広まったのはつい最近のようです。そのことを踏まえると、二十歳になることそれ自体には、もともと決まった意味はないのかもしれないですね。ですから、二十歳を迎える意味は自分で考えてみるのが大切だと思います。

そして、もう一つ大切なのが、感謝の気持ちを持つことであって、自分はどう生きるかを考えることです。誰にでも自分を支えてくれた人がいるはずですから。人生の節目ごとには、支えて下さった方々への感謝の心を持つことは大切であると思います。

私たちは、これまで東日本大震災やコロナ禍といった災害を経験し、また、それぞれにも苦しい経験があったかと思えます。今後も困難な出来事が私たちの人生に起こってくると思えますが、それでも、私たち一人ひとりが自分の信念を持ち、日々邁進していくことをここに誓います。

(はたちを祝う会代表あいさつより抜粋)